

【大会要項】

- ※ 各会場の開場時間は8時とする。ただし、準決勝・決勝の開場時間は8時半とする。

- a. 学校教育法第124条、134条の学校に在籍し、山梨県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- b. 以下の条件を具備すること。
 - ア. 大会参加を認める条件
 - a) 山梨県高等学校体育連盟の目的及び永年の活動を理解し、それを尊重すること。
 - b) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - c) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - イ. 大会参加に際し守るべき条件
 - a) 山梨県高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - b) 大会参加に際しては責任ある教員が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - c) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(7) 参加制限【外国人留学生の出場枠について】

- ① 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
- ② 在籍校が、山梨県高等学校体育連盟に加盟していること。
- ③ 平成18年(2006年)4月2日以降に生まれた者とする。
- ④ 短期留学生は除く。
- ⑤ 人数は、エントリー(18名)の内2名を上限とし、コート内でプレーできる選手は1名とする。

9 引 率

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、コーチ又はアシスタントコーチを兼ね、選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。ただし、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。なお、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は山梨県高体連会長に事前に届け出ること。
- (3) コーチ又はアシスタントコーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はJBA公認コーチ登録を完了し、傷害賠償 責任保険(スポーツ安全保健等)に必ず加入することを条件とする。

10 参加人員

コーチ1名、アシスタントコーチ1名、学校関係者1名、マネージャー1名、選手18名、合計22名を上限とする。

11 競技規則

- (1) 「2025 バスケットボール競技規則」による。
- (2) 参加チームによるトーナメント戦方式優勝戦とする。
- (3) 男子のみ3位決定戦を実施する。
- (4) 男女ともトーナメント結果の上位から4チームは、第101回天皇杯・第92回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会山梨県代表決定戦トーナメント大会に参加する。
- (5) 男子の優勝・準優勝チーム、女子の優勝チームは、令和7年度関東ブロックリーグ大会に参加する。

12 表 彰 男女とも3位までを表彰する。

13 表 彰 式 女子3位表彰は各準決勝終了後、男子3位表彰、男女準優勝、優勝の表彰は男子決勝終了後に行う。

14 組合せ会議 令和7年5月16日(金) 15:00～ 青洲高校 青洲ホール

15 競技上の注意

- (1) ベンチは組合せ番号の小さいチームをコートからテーブルオフィシャル席に向かって右側とする。
- (2) ユニフォームは原則として、組合せ番号の小さいチームが、白色を着用する。
- (3) 第1・第2クォーターに攻撃するゴールは、自チームのベンチ側とする。
- (4) 競技開始時刻は原則として定刻とする。ただし、前の試合が遅れたコートに最低でも10分間の練習時間を確保する。大会2日目は第5試合目の両コートの開始時刻を合わせる。
- (5) ハーフタイムの3分前の合図があるまでは、次の試合の両チームが練習に使用してよい。
- (6) 自チームのメンバー表を前の試合の前半終了直後にテーブルオフィシャルと相手チームに提出する。
- (7) **棄権する場合は、必ず専門委員長と相手チームに連絡する。**
(無断で棄権した場合は、相手チームの交通費全額を支払うこととする。)
- (8) 試合の速やかな進行に心がける。

16 テーブルオフィシャル (以下TO)

- (1) TOは大会ごとにTO部が定めた計画に従って行う。
- (2) 原則としては次の通りを行う。
 - ① 各コートの最初の試合は、その試合から2試合あとの両チームが分担して行う。
 - ② 各コートの2試合目以降は、前の試合の負けチームがそのコートの次の試合のTOを行う。
 - ③ 準決勝、決勝においては、TO部が依頼したチームが行う。

17 諸 注 意

- (1) 各会場ともに、上下履きの区別を徹底する。
- (2) 貴重品の管理は、各チームで行う。
- (3) 会場に迷惑がかけられないように心がける。**開場時間より15分以上早い時間の来場は控えください。**
※6月14日(土)小瀬、6月15日(日)北麓、鐘山、6月22日(日)北麓は最終ゲーム終了後会場の片づけを行います。最終ゲームで試合を行ったチームおよびTO担当校は会場の片づけにご協力下さい。

18 各会場の担当責任者

月 日	会場名	記録報道	競技	会場責任者	TO 主任
6月14日	北麓(AB)男子	清水泰裕(甲府南) 藤巻和義(甲府商業)	大沼翔太(河口湖) 宮下敏治(笛吹)	植松光和(甲府南) 山本大輝(甲府城西)	渡邊晶(甲府商業) 新井孝文(日大明誠)
	小瀬(CD)男子	植村友貴(興譲館) 日高翔太(北杜)	栗原寿(興譲館) 佐野勇太(甲府西)	石寺隼人(山梨) 長谷川道英(上野原)	渡辺凜太郎(農林) 吉岡大地(甲府東)
	鐘山(EF)女子	飯室剛史(巨摩) 中田秀統(青洲) 志村飛竜(青洲) 小澤孝亮(興譲館)	古屋勝規(甲府商業) 白倉一穂(北杜)	田島真也(帝京) 横内裕三(甲府城西)	安西拓海(吉田) 小澤輝(富士北陵)
6月15日	北麓(AB)男子	鮎沢峻(青洲) 齊藤拓巳(北杜) 日高翔太(北杜)	大沼翔太(河口湖) 佐野勇太(甲府西)	小澤和真(青洲) 山本大輝(甲府城西)	新井孝文(日大明誠) 吉岡大地(甲府東)
	鐘山(EF)女子	植村友貴(興譲館) 小澤孝亮(興譲館) 武井祐樹(興譲館)	白倉一穂(北杜) 横内裕三(甲府城西)	古屋勝規(甲府商業) 武藤優(富士学)	小澤輝(富士北陵)
6月21日	北麓(M)男女	宮久保純子(青洲)	白倉一穂(北杜)	横内裕三(甲府城西)	吉岡大地(甲府東)
6月22日	北麓(M)男女	齊藤拓巳(北杜)	白倉一穂(北杜)	横内裕三(甲府城西)	吉岡大地(甲府東)

連絡責任者 専門委員長 小澤 和真

勤務先(青洲高校)
携帯電話

055-272-1161
090-4965-6667